

「落ちない葉っぱヤマコウバシ」(アイデア商品開発) 顛末記

富澤まり

受験生にエールを送る意味で、入園者対象に「落ちない葉っぱ ヤマコウバシ」をしおり及びカードにして配布した(写真1)。マスコミ等に取り上げられ、非常に注目されたので、報告する。

ヤマコウバシとは、クスノキ科クロモジ属の低木で、葉が枯れても、冬の間、枝に付いたままで落ちない。(写真2) 枯れ葉は、春に花が咲き新芽が出た後に、入れ替わる。「山香ばし」の名は、枝や葉によい香りがあることに由来する。

配布を始めたきっかけは、冬の落葉の季節になっても葉が落ちない樹であることから、受験生のために、少しでも心のよりどころになれば(語呂合わせで話題になれば)、との石田園長の発案である。ホームページの「園長のおすすめ」で、その時期特有の植物を紹介しているが、冬にヤマコウバシを取り上げ、そこのアイデアから生まれたヒット商品である。

単にお守りとして売るだけではなく、落葉樹(カシワなどブナ科の一部など)に茶色くなった葉がなかなか落ちないものがあることも紹介した。ヤマコウバシは、葉が落ちないで、花が咲き(合格)、新芽が出た後に入れ替わる(入学)。このような意味を込めている。

合格祈願「ヤマコウバシの葉」販売の経緯を紹介する。発端は、平成20年1月13日(日)、14日(月・祝)各日(予定100名のところ)150名、2日間合計300名への無料配布である。さらに希望が多かったため、100円で売店にて500枚販売(3月末まで)し、合計800枚を配った。翌年度(平成20年度)は100円で平成20年12月1日より販売し、カード1,393枚、しおり2,135枚、合計3,528枚を売り上げた(図)。マスコミに取り上げ



写真2. 園内のヤマコウバシ

られた後や、12月の土曜日に行われた夜間開園時に多数を売り上げた。1月中旬の大学入試センター試験前までに売り上げの8割以上が集中している。

しおり及びカードは、すべて職員の手作りである。園内には展望塔付近の園路や樹林観察園にヤマコウバシの木が3本ある。これらの木の葉を一枚ずつ採集し、販売用とした。

もともと入園者増加対策として、入園者に対してのみ配布を始めたが、「落ちない葉っぱ」のみの購入希望が多かったため、平成21年度からは購入のみもできるようにした。

平成21年度の販売価格は100円(お一人しおり10枚まで、カード50枚まで)で園内の売店で12月1日から販売した。

後日、「孫が合格した、ありがとう。」など複数の感謝の声が寄せられた。



写真1. 「落ちない葉っぱヤマコウバシ」のしおり及びカード

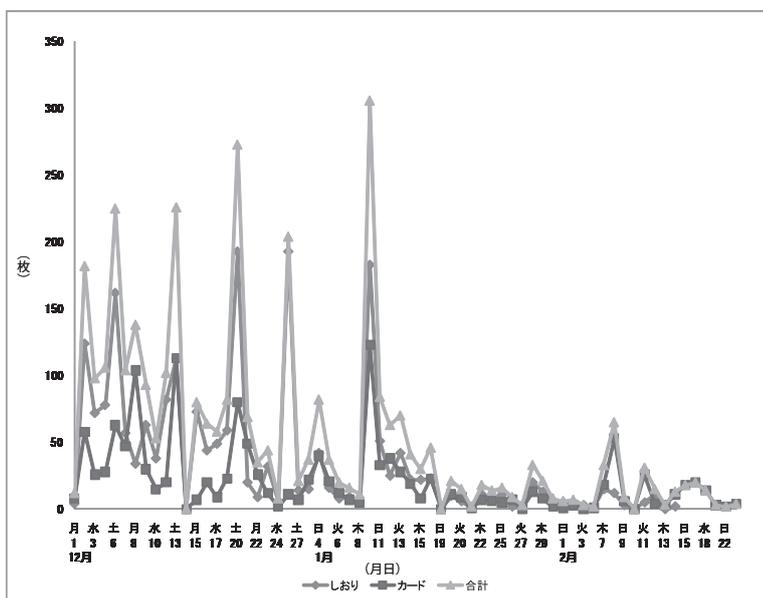


図. 売り上げ枚数(平成20年度)